

この度、JR田沢湖駅構内に仙北市田沢出張所に長い間眠っていたピアノが設置され、その披露発表会が4月21日に行われました。

設置されたピアノは、生保内中学校の校長などを務めた故稲田久さんが旧田沢湖町時代に寄贈されたもので、娘さんの久美さんがそれまで愛用していたものです。

田沢湖ロータリークラブ（西村隆作会長）の会員がテレビで空港や駅にピアノが設置され自由に弾いているのを目にしたことがきっかけとなり、田沢湖駅でも訪れた方や市民の皆さんに自由に演奏していただき、交流や賑わいにつながれば



## 安らぎの空間が田沢湖駅に♪ 田沢湖ロータリークラブが ピアノを設置

この思いから設置が実現しました。

セレモニーでは市内で音楽教室を主宰する安藤満里さんが「エリーゼのために」を演奏。安藤さんは「とても緊張したが、ここで演奏できて嬉しい。気軽にピアノにふれる場所ができてとてもよかった」と話しました。

また、田沢湖駅前などでピアノ教室を主宰する古郡理紗さんは「新しい「赤いスイートピー」を演奏し「新型コロナウイルス感染症の影響で演奏会などが中止と



「エリーゼのために」を演奏した安藤さん。

古郡さんは「赤いスイートピー」を披露しました。



なり音楽に親しむ機会が減ってしまっただけで、ピアノが身近にあることで音楽にふれる機会が増えてうれしい」と話しました。

平成5年創立後、田沢湖畔の清掃活動や田沢湖駅前の花壇づくり、台湾との交流支援など様々な奉仕活動にも協力してきた田沢湖ロータリークラブ。今回設置されたピアノも同ロータリークラブが今後も調律などの管理を奉仕活動の一環として行っていく予定です。

西村会長は「ピアノがたくさんの方々の笑顔と幸せを運んでくれたら最高」と話しました。

## 大仙・仙北広域圏 日本語講座 丁寧な指導で日本語を学ぶ

毎週日曜日と月曜日に角館交流センターを会場に在留外国人のための日本語講座が開催されています。

この講座は大仙・仙北広域圏日本語講座運営委員会が主催し、大仙市、仙北市、美郷町でそれぞれ開催されています。

取材に訪れた日は、中国や韓国出身の外国人4人が参加。テキストを使いながら日本語を話したり書いたり勉強していました。時には雑談を交えながら楽しそうに勉強している様子がうかがえました。受講者の習得状況によって勉強メニューは変えるとのこと。生徒一人ひとりに先生がつき、じっくりと学ぶことができます。

指導者は事務局から委嘱を受けた6人。高橋真行美さんは「答えをあえて教えない。ペアで間違いを探してもらい、自分で気づかせる」と話します。また、田村雄幸さんは「言葉だけではなく、日常生活のアドバイスやこういうことを言われたがどういう意味か知りたいなど、ちょっとした気になることがあったら気軽に参加して欲しい」と参加者を心待ちにしています。

昨年から参加しているという中国出身の女性は「難しいですが、毎週楽しみで来ている。親切で優しい先生」と2時間みっちり日本語を学んでいました。お近くに日本語の勉強をしたいという外国の方がいましたらぜひご紹介ください。お問い合わせは、仙北市教育委員会生涯学習課（☎43-333003）まで。

**【日本語講座】**

日時／毎週日曜日 10時～12時  
毎週月曜日 15時～17時

場所／角館交流センター

指導者／▼鈴木通明 ▼加藤千恵子 ▼田村雄幸 ▼高橋眞行美 ▼青柳徹 ▼榎尾順子

ボランティア／▼熊谷徹



受講する在留外国人の皆さんは、指導者の説明を熱心に聞いていました。

## 迅速な消火活動に 角館消防署田沢湖分署に新しいはしご車が配備

この度、角館消防署田沢湖分署のはしご付消防ポンプ自動車を更新され、4月26日から運用を開始しました。

はしごの最大地上高は、旧はしご車と比較して約5mも延長され35・3m、60秒ほどで到達します。これまで消火が難しかった場所での消火活動が可能になりました。

今回配備されたはしご車の新たな機能は二つ。

一つ目は、先端屈折装置。はしごの先端から2・5mの位置で最大80度まで下に折れ曲がります。これにより、電線などを避けて建物に接近したり、フェンスを越えて屋上にバスケットを降ろすことが



できるようになりました。

二つ目は、伸縮式水路管。はしごの下部に伸縮式の水路管が装備され、バスケットの電動放水銃から毎分2000リットルの高圧放水がでます。放水しながらのはしご操作も可能になりました。

このはしご車が活躍することはないのが一番ですが、万一が、火災が発生した場合はより迅速な消火活動が期待されます。

## 善意の力がこころを暖めます

## 子どもたちの教育環境充実に 角館ロータリークラブが 角館小学校に助成

4月28日、角館小学校（梁田一史校長）が角館ロータリークラブ（後藤薫会長）から通級指導教室の教育環境充実に助成金（5万円）をいただきました。角館小学校では統合前から40年以上にわたって毎年支援をいただいております。統合後は通級指導のための教員や教材ソフト、検査キットなどの購入に役立ててきました。

後藤会長は「支援は今年で41年目になるが、これからも継続的に行っていきたい。子どもたちの力になることができると話しました。梁田校長は「子どもたちの笑顔が増えるように有効に使わせていただきたい」と話しました。



角館ロータリークラブの後藤会長（右）から梁田校長（左）に手渡されました。



昨年度購入した教材。子どもたちが喜ぶ様々な教材が有効に使われています。